

令和5年度 事業報告



<経営理念>

「社会・地域における福祉の発展・充実」を使命とする

- ①利用者一人ひとりの個性や特徴を大切にする
- ②身体的にも精神的にも家庭的な雰囲気の中での生活をめざす
- ③広く地域に開放し、地域に支えられた暖かな出会いとふれあいの場づくり

<行動方針>

- ①高齢者福祉施設として地域に貢献するとともに、地域社会との調整・交流を重視した事業の展開を図る。
- ②変動する社会および利用者個々の状態やニーズに即したサービス供給体制の確立を目指し、施設全体として、介護・サービスの質の向上に努める。
- ③職員の介護・福祉理念、対人援助技術の向上を図るとともに、一人ひとりが人としての豊かさ・人間力を高め、やりがいや楽しみを感じながら、互いに切磋琢磨し、ともに成長できる職場環境の構築に努める。

<特別養護老人ホームめぐみの杜 スローガン>

「将来の自分や家族が利用したい」と思える施設作りを目指します。

1. 総評

特別養護老人ホームめぐみの杜は、地域に根差した社会福祉法人として、地域に望まれる施設運営を念頭に業務を進めるとともに、介護サービスの質を上げることへのチャレンジを基本方針として業務執行に努めました。また、これまでと同様に職員の資質向上にも重点を置き、各委員会活動にて事故や感染対策などの課題解決、施設内研修やオンライン研修の充実、参加促進を行い、ご入居者、ご利用者個々に応じたサービス向上を目指してまいりました。

令和5年度におきましても年度末に新型コロナウイルス感染症クラスターが発生、面会制限など施設内の感染対策を強化することとなりましたが、これまで積み重なってきた経験により、混乱もなく終息することができました。

大きな課題の一つである介護・看護人材不足の解消については、人材確保のため求人媒体や職員紹介制度などにより人材確保を進めてきましたが、好転する気配はなく人材不足の解消には至りませんでした。一方で前年度に続き特定技能外国人の採用を継続、真面目で積極的に学ぼうとする姿勢からも戦力となるまでに時間を要することなく、深刻な状態に陥ることはなかった。

今期に茨城県地域医療介護総合確保基金事業を活用し、導入させていただきました介護ロボット「見守り支援システム」及び浴槽改修につきましては、ご入居者の安心と職員の負担軽減に必ず寄与するものと確信しております。

2. 職員の状況

(令和5年4月1日現在)

単位：人

	介護老人福祉施設 短期入所生活介護	地域密着型通所介護	居宅介護支援事業所
施設長（管理者）	1	—	—
管理者	—	1	1
【相談室】			
主任 相談員	1	—	—
相談員	1	—	—
相談員（通所介護）	—	2（兼務）	—
介護支援専門員	2	—	1
【介護課】			
主任/副主任 介護職	2	—	—
介護職（常勤）※内2名兼務	19	3	—
介護職（非常勤）	16	3	—
介護補助職	6	—	—
技能実習生（インドネシア）	4	—	—
特定技能1号（インドネシア）	10	—	—
ドライバー	1	2	—
【医務室】			
主任 看護師	1	—	—
看護師	3	（配置）	—
【栄養課】			
管理栄養士	1	—	—
【事務職】			
経理	1	—	—
総務	1	—	—
合計	70	9	2

有資格者状況（複数資格者含む）

介護福祉士	25
介護初任者研修修了	14
介護実務者研修修了	4
ホームヘルパー1級	0
ホームヘルパー2級	7
主任介護支援専門員	2
介護支援専門員	3
社会福祉士	1
正看護師	2
准看護師	2
管理栄養士	1
認知症介護基礎研修	1

令和5年度
特定技能1号 新規採用4名
(国籍：インドネシア)

3. 入居者・利用者の状況

(1) 特別養護老人ホームめぐみの杜

利用定員 80名 稼働率99.3%

入居待機としてショートステイサービスを長期利用、一定数の受け入れから順次特養入居までをスムーズに行えたこともあり目標の稼働率を維持することができた。

利用者が安心して充実した生活が送れるよう定期的にサービス担当者会議を開催し、家族からの要望や介護上での課題の検討、見直しを行うことができた。サービス担当者会議の内容、普段のケア記録や連絡ノートに内容を記載し、多職種と情報共有を図り個別的ケアにも繋げることができた。

看取り介護においては、最期までその人らしく過ごして頂くことを目標として、年度内に2名の入居者を見送った。家族を含めた多職種協働を重点におき、嗜好品の提供やコロナ禍の中感染対策を講じつつ、本人と家族が穏やかに過ごせる空間作りに努めた。

褥瘡ゼロを目指し嘱託医、看護、介護、管理栄養士が協力し、褥瘡予防を積極的に取り組みました。初期状態の発赤・表皮剥離の発症がありましたが、主治医との連携のもと、体位交換、皮膚の清潔保持や栄養管理などの的確な処置により悪化することなく治癒いたしました。

令和5年度 稼働率と平均介護度

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
稼働率	99.7%	99.8%	98.7%	100.0%	99.2%	98.5%	99.4%	98.4%	99.0%	99.9%	99.7%	99.0%	99.3%
平均介護度	4	4	4	4	4	4	4	4.1	4	4	4	4	4

令和5年度 新規入居者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
女性	1	1	2	1	2	2	2	1	2	0	0	1	15
計	1	1	3	1	2	2	2	1	2	0	1	1	17

令和5年度 退去者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	7
女性	1	0	2	0	1	0	3	0	1	1	0	2	11
計	2	1	2	1	3	2	3	0	1	1	0	2	18

年齢・性別 (令和6年4月1日現在)

(単位：人)

	65歳未満	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～99歳	100歳～	計
男性	0	0	0	2	2	3	0	7
女性	1	2	3	10	21	34	1	72
計	1	2	3	12	23	37	1	79

※平均年齢 87.7歳 (男性 86.0歳/女性 88.0歳) ※性別構成比 男性 14.8、女性 85.2

要介護度別 (令和6年4月1日現在)

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	その他	計
男性	0	0	0	0	2	3	2	0	7
女性	0	0	0	1	19	32	20	0	72
計	0	0	0	1	21	35	22	0	79

(2) 短期入所生活介護

利用定員 20名 76.7%

稼働率は安定して推移。災害時緊急避難としてグループホームの利用者の受け入れ、新型コロナの影響もあり目標としていた稼働率80%に届かなかった。評価として、他事業所訪問や電話連絡にて利用者の様子を随時に報告したりと積極的な活動により関係構築を築くことができたことが実績につながった。

令和5年度 稼働率と平均介護度 ※¹ 10床で運営 (グループホーム福祉の里利用者10名入居のため) ※² 新型コロナウイルス感染症発生

特養	4月	5月	6月	7月※ ¹	8月※ ¹	9月	10月	11月	12月	1月※ ²	2月※ ²	3月	年間平均
稼働率	90.0%	89.7%	84.8%	48.5%	46.8%	78.5%	78.1%	82.7%	90.3%	72.9%	73.6%	84.5%	76.7%
平均介護度	2.9	2.9	2.8	3.3	3.6	2.9	2.6	2.7	2.7	2.7	2.6	2.7	2.8

令和5年度 利用実人数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	17	18	14	4	9	22	22	24	22	21	21	25
女性	29	35	33	22	22	33	31	29	31	24	27	25
計	46	53	47	26	31	55	53	53	53	45	48	50

令和5年度 要介護度別 構成比

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
構成比	0.6	1.1	15.8	21.9	25.6	29.4	5.6

性別構成比 男性 32.1 女性 67.9

(3) 地域密着型通所介護

利用定員 18名 稼働率73.4%

今期は新型コロナウイルス感染症の影響もなく、稼働率では前年実績を上回ることができた。前期同様にリハビリにも力を入れ取り組んできた。

- ・ 集団訓練 (TV体操・リハビリ体操)
- ・ 生活リハビリ (縫物、切り絵など)

【デイサービスでの主な行事】

- ・ フラワーアレンジメント
- ・ 外出レク (四季の里公園、つくばローズガーデンなど)
- ・ 外食会
- ・ 夏祭り
- ・ クリスマス会



令和5年度 稼働率と平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
稼働率	63.1%	61.9%	69.9%	71.6%	73.3%	76.7%	81.6%	78.0%	78.6%	67.9%	77.6%	80.8%	73.4%
平均介護度	1.7	1.8	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.6	1.7	1.6	1.5	1.4	1.6

年齢・性別 (令和6年4月1日現在)

(単位：人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	計
男性	0	1	4	5	4	4	18
女性	0	2	5	8	7	6	28
計	0	3	9	13	11	10	46

令和5年度 要介護度別 構成比

	要支援1	要支援2	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5
構成比	1.9	7.2	39.5	26.2	19.0	5.9	0.2

性別構成比 男性36.8 女性63.2

(4) 居宅介護支援事業所

居宅サービス計画書を作成するにあたってご利用者の心身の状況や生活状況を勘案し、ご利用者やご家族の意向を尊重した上で、住み慣れた地域で自立した生活を送れるようご利用者の立場に立った居宅サービス計画書を作成し支援を行なった。昨年は取手市内のケアマネが不足したことにより、利用者が支援が受けられないという事態が発生、少なからず当事業所への影響もあったと思われる。取手市のケアマネ連絡会主催の研修や会議などにも積極的に参加、他事業所のケアマネージャーとの情報交換や個々のスキルアップを図ることができた。

令和5年度 要介護度別 利用者数推移

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	73	74	74	73	75	73	74	75	74	74	70	69
要支援1・2	16	16	16	15	15	14	14	14	14	14	14	14
要介護1～5	57	58	58	58	60	59	60	61	60	60	56	55

4. 行事等活動報告

本年度は通常通りの施設行事を実施。

地域交流として「稲保育園の園児とのふれあい」をはじめとして、洋品店「よしや」やローソンと提携し移動販売として自分で買い物するという楽しみの機会を提供した。

- 7月流しそうめん
- 9月敬老会
- 10月秋祭り
- 12月クリスマス会
- 1月おとそ
- 3月お花見



(流しそうめん)



(元旦 おとそ)



(敬老会)



(秋祭り)



(稲保育園との交流)



(よしや訪問販売)



(ローソン移動販売)

5. 栄養管理・食事提供等

(1) 食事管理

ご利用者様の個々の状態に合わせた食事の形態や適正なカロリー、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、美味しく安全な食事を提供いたしました。嚥下困難な方へのトロミ剤の使用方法及び適正な濃度について統一濃度で提供できる体制を整え職員への周知を行い、ご利用者様に合わせたトロミ形態で提供を行いました。

(2) 行事食の提供

その月の行事や季節の催し物に因んだ行事食やバイキング形式での昼食を行事食とし美味しく、また、見た目にも楽しめる食事を提供いたしました。

- ・にぎり寿司
- ・うな井
- ・ハンバーグ、エビフライ など



(元旦 おせち料理)



(敬老の日)

6. 各種委員会活動報告

① 防災委員会

BCP（業務継続計画）の作成。随時見直しを行いながら内容追加・更新。

ライフライン遮断による厨房が機能しなくなった場合を想定し、機能炊き出し訓練を実施した。

防災訓練においては、指示役との連携など訓練の都度同じ反省が繰り返されていることも確認。改善に結びつけていくための取り組みの工夫について委員会内で検討した。

② 感染・褥瘡委員会

今期の褥瘡対策では、ユニット内での対応を正確に統一できるよう、情報共有から対策までをリーダー会議内で共有するようにした。新型コロナウイルス感染症においては、地域の情報収集やこれまでの感染対策を踏まえながら、随時マニュアルを更新した。

③ 行事委員会

季節ごとの年間行事計画に基づき、安全で楽しめる行事について話し合いを行った。

④ 安全対策委員会

各部署ごと発生した事故情報を分析し、発生原因、結果等を取りまとめ防止策の検討を行った。

⑤ 身体的拘束適正化委員会・虐待防止委員会

事例を踏まえながらグレーゾーンや不適切ケアについて考える機会を多く持つことができた。

身体拘束及び虐待に関する施設内研修については、より多くの職員が参加できるようにすること、また制度や指針を浸透するため繰り返し実施するようにした。

⑥ 給食委員会

各フロアから提案される栄養・食事に関する事項やイベント食について意見交換を行った。

7. 研修状況

<施設内研修> 外部オンライン研修含む

5月	身体拘束・認知症研修	全職員
6月	褥瘡予防対策研修	全職員
	虐待研修スピーチロック	全職員
	B C P 研修（災害）	全職員
7月	緊急時対応研修・A E Dの使い方	全職員
	コーチング研修	リーダー
8月	業務改善向上力研修	リーダー
10月	リスクマネジメント研修	全職員
	感染症・結核について	全職員
	感染症対策研修（B C P・シュミレーション）	全職員
	身体拘束研修	全職員
	送迎中の急変者対応	デイサービス
12月	B C P 研修（災害）	全職員
	虐待研修	全職員
令和6年1月	認知症研修	全職員
2月	介護事業者のパワーハラスメント対策	リーダー
	看取り研修	全職員

8. 防災訓練実施状況

6月	新館	・火災発生を想定した防災訓練
11月	本館	・火災発生を想定した防災訓練 ・水消火器による消火訓練

9. BCP（業務継続）訓練

9月	実働・体験	災害発生時におけるライフライン遮断を想定、炊き出し訓練を実施
11月	避難誘導・検証	災害発生時における被害を想定し、避難誘導時の確認を行った

10. 介護福祉士実習生受け入れ状況

学校名	実習内容	人数
江戸川学園おおたかの森専門学校	介護	2名